



# ラルシュ国際連盟

覚書 2023～2028

わたしたちは、知的障がいのある人とない人の関係がもたらす変革の力を信じています。今日、わたしたちの共同の生活は、かつてないほど意義があり、新たな挑戦に満ちています。コミュニティの中でも、

また外でも、わたしたちは、共に生きることの基本的な側面、すなわちコミュニティ性、祈りの心、外の人々とのつながり、成長を育むよう招かれています。

ラルシュは、その歴史の中で重要なときに今立っています。「調査委員会」の報告は、ラルシュの過去に関してのわたしたちの理解を変え、またこれからのわたしたちの歩みを方向付けるものです。連盟のメンバーとして、わたしたちはそれぞれ、さらなる成熟と、物語を正しく伝える誠実さをもって、ラルシュの使命に責任を持つように招かれています。

---

## 1. 正当な運営と権限の明確化

この覚書の特に大切な事項は、誰がどのレベルで権限を持ち、どのようにリーダーシップを発揮し、リーダーが使命に関してどのように責任を負うかを明確にすることです。憲章を読み返し、憲章についての理解を深めることが、その実現につながります。

---

## 2. 使命を生き、それを世界と共有することによる成長

周りの世界と関わり、他の組織やグループや個人と手をつなぐことは、わたしたちを思いがけない場所やラルシュの新しい表現へと導きます。成長は不可欠であり、それはより豊かな祈りの心、適性の向上、訪問支援、新たな共同体の誕生など、さまざまな形態が考えられます。障がいのある人たちの声と貢献は、わたしたちが世界と関わる上で不可欠です。

---

## 3. 憲章を生活に取り入れる

憲章は、わたしたちのもっとも大切にしている価値とその実践を促進し、わたしたちの祈りの心とコミュニティとしての生活を刷新するための手引きとなります。この憲章を共にみずからの生活に取り入れることによって、わたしたちは使命のために整えられ、行動と理想を一致させることができます。

---

## 4. 資金集めのために協力し合う

連盟全体の財政状況を理解し、資金集めと配分における国際ラルシュと各国の役割について一致した理解をもつことは重要です。連帯して責任を負い、資金集めをあらゆるレベルでラルシュの使命に統合するとき、持続可能な財源をもっとも安定したかたちで確保することができます。

---

## 5. ラルシュのネットワークの強化

地域、国、文化を超えた関係を育むことで、ラルシュは知恵や優れた実践を分かち合い、共に問題を解決し、失敗から学ぶことができます。このようなつながりは、わたしたちをより広い視野、より大きな連帯へと開き、連盟のより良い働きに対するわたしたちの責任に気づかせます。